

地域別検討協議会学区別検討資料(留萌学区)

留萌学区高校配置計画の見込み										
区分	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R 10 (2028)	R 11 (2029)	R 12 (2030)	R 13 (2031)	令和7~13 (2025~2031) 年までの 増減	令和10~13 (2028~2031) 年までの 増減
学区内中卒者数	280	270	284	263	257	238	217	188	▲ 92	▲ 75
対前年増減	▲ 28	▲ 10	+ 14	▲ 21	▲ 6	▲ 19	▲ 21	▲ 29		
留萌市中卒者数	(124)	(118)	(117)	(128)	(96)	(100)	(102)	(83)	▲ 41	▲ 45
対前年増減	▲ 26	▲ 6	▲ 1	+ 11	▲ 32	+ 4	+ 2	▲ 19		
学校名	令和6(2024)年度の 学科及び募集学級数			R6 (2024) 欠員	令和7(2025) 年度	令和8(2026) 年度	令和9(2027) 年度の見通し	令和10(2028)~13(2031)年度までの見通し		摘要
単 留 萌	4→3	工 1 商 1	5	51			0~1学級 に相当する 中卒者の減	4年間で1~2学級に相当す る中卒者の減		苫前商業、天塩の協力校 普通科単位制 R6(2024)第2次募集後学 級減
羽 幌	2		2	36						
地 苫前商業		商 1	1	22						
地 天 塩	1		1	12						
遠別農業		農 1	1	25						
5校	7→6	4	10	146						

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。
 注2 学校名の「単」は単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域連携校。
 注3 令和6(2024)年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。

学区の検討事項と現状・課題	
学区の検討事項	現状・課題
○中卒者数の増減に対応しながら、多様な学習ニーズに応える高校配置の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 令和9(2027)年度の定員調整等の検討に当たっては、21人の中卒者数の減のほか、市町ごとの中卒者数の状況なども考慮した検討が必要 令和10(2028)年以降については、令和13(2031)年までに学区全体で75人の中卒者数の減が見込まれることなども考慮した配置の在り方の検討が必要 欠員が40人以上生じている学校について、定員を含む学科構成の在り方について検討が必要
○地域の取組を勘案した特例的取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携校について、5月1日現在の第1学年の在籍者数が2年連続20人未満となった場合は、道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携し、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む集中取組期間を設けた上で、再編整備の留保が必要